

荒川水辺サポーター活動実施のステップ

STEP.1

学校、職場、地域の仲間を集めて、団体（市民団体・企業・学校など）ごとに、お申し込みください。

STEP.2

活動・支援等の内容に関する合意確認の手続きを行い、「荒川水辺サポーター」となります。

STEP.3

事前連絡のうえ、必要に応じて資機材の貸与を受けて、活動を行ってください。

STEP.4

活動の都度、結果をご報告ください。結果は事務所ホームページで、随時公開いたします。

【制度概要】国土交通省荒川下流河川事務所では、多様な生物が生息・生育する荒川の自然地の環境保全・活用を目指し、「荒川下流自然地管理アダプト制度」に基づき、地元自治体（江戸川区）と協力し、活動団体「荒川水辺サポーター」の皆さんによる自然地の維持・保全活動を推進しています。実施要領等の詳細は、同事務所ホームページ（下記URL）でご確認ください。

【活動内容】小松川自然地の維持・保全活動として、「ゴミ拾い」、「草刈り・草抜き」、「動植物の調査」を実施（年3回以上・組み合わせ自由）してください。団体ごとに、担当区画（1区画以上）を設定しますので、活動は区画内を目安として実施してください。

【支援内容】ゴミ拾いや草刈り・草抜きに必要な資機材（のぼり旗やゴミ袋、軍手等）の貸与や提供、回収したゴミの処分、活動の広報、アダプトサインの設置等の活動支援が受けられます。

【申込方法】実施要領をご確認のうえ、必要事項を記入した申込書を、申し込み先まで送付（郵送またはFAX、e-mail）ください。その後の手続きについて、折り返しご連絡いたします。実施要領および申込書は、荒川下流河川事務所ホームページ（下記URL）で入手できます。ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

※ 実施要領の内容に合意いただける団体であれば、どなたでもお申し込みいただけます（江戸川区外からの参加も可能）。

↓ これまでの活動状況や実施要領・申込書など、詳細はホームページでご覧になれます ↓
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00005.html>



小松川自然地へのアクセス

■ 東大島駅（都営新宿線）より東へ徒歩およそ5分

小松川自然地（東京都江戸川区）は、荒川の右岸（西側）にある、小松川橋より下流およそ1.5km区間の河川敷です。



小松川自然地のほか、足立区千住桜木自然地、足立区本木自然地でも、「荒川水辺サポーター」の参加団体を募集しています。詳細はホームページ（上記URL）をご参照ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 4. 質の高い教育をみんなに**
持続可能な開発のための教育（環境教育）を通し、ボランティア活動、CSR活動の推進を行います。
- 13. 気候変動に具体的な対策を**
河川の維持管理を通して、洪水に対するレジリエンス（強靱化）を強化します。
- 15. 陸の豊かさも守ろう**
外来植物の駆除・保全活動を行うことで、自然地の維持・絶滅危惧種の保護を行います。

荒川下流河川事務所では、本活動を通して以下のSDGsの目標達成に貢献する取組みを進めています。

- 6. 安全な水とトイレを世界中に**
ゴミ拾いを通して、河川の水質や生態系の保護・回復に寄与します。
- 14. 海の豊かさを守ろう**
漂着ゴミ、不法投棄ゴミを減らし、海洋汚染を防止します。
- 17. パートナリシップで目標を達成しよう**
市民団体・企業・行政の協働により、自然地の維持・保全活動を行います。

お申し込み・お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1 TEL.03-3902-8745 FAX.03-3902-3670

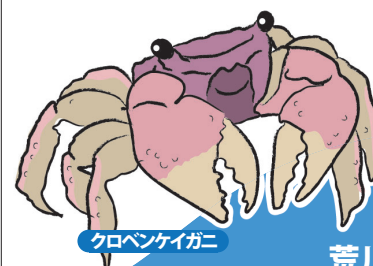
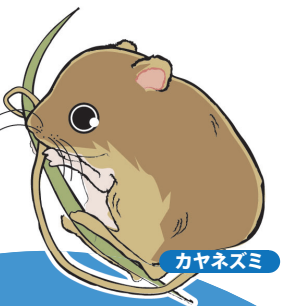
【E-mail】ktr-arage-kankyo@gxb.mlit.go.jp

（担当：地域連携課）

小松川自然地の

荒川水辺サポーター参加団体を募集しています。

荒川水辺サポーターになりませんか？



荒川の下流部は、年間1,500万人が訪れる憩いの場であるとともに、ヨシ原や干潟などの広がる自然地があり、動植物にとっても大切な場所です。しかしその一方、漂着ゴミの堆積や外来植物の繁茂などの課題もあります。

「荒川水辺サポーター」は、こうした自然地の維持・保全活動を行う環境ボランティアです。

？ 小松川自然地ってどんなところ？

広々としたヨシ原ではオオヨシキリなど、干潟ではトビハゼやヤマトオサガニなど、さまざまな生物がみられます。ヨシ類を波の浸食から防ぐ「木工沈床」を設置しており、ヨシ原の拡大傾向が確認されています。



水際に広がるヨシ原は、木工沈床により波の浸食から守られています



オオヨシキリはヨシ原に巣をつくります



トビハゼは汽水域の干潟でみられる魚類です



高規格堤防上の小松川千本桜は春になると多くの人がとで賑わいます

自然地周辺は、自然に囲まれながらスポーツや散策が楽しめる憩いの場として、人びとに親しまれています。また、堤防上の「小松川千本桜」は、お花見の名所として知られています。

？ 小松川自然地ではどんな問題があるの？

ゴミの不法投棄が多く、自然地の景観を損なっているだけでなく、生物の生息・生育環境に悪影響を与えています。また、水際には漂着ゴミの堆積もみられます。



自然地に投棄されたゴミ



アレチウリ



セイタカアワダチソウ



植生が繁茂し見通しの悪い水際

外来植物アレチウリやセイタカアワダチソウなどの繁茂により、良好なヨシ原の環境に悪影響が生じているだけでなく、見通しが悪く、人が水際に近づくのが難しくなっています。

？ 荒川水辺サポーターはどんな活動をしているの？

■自然地の環境を維持・保全するため、ゴミ拾いのほか、外来植物の駆除（セイタカアワダチソウの抜き取り）、ヨシ原の手入れ（冬のヨシ刈り）、生物調査（特定外来生物の記録）などを行っています。

■サポーター活動とあわせて、河原の生物を学んだり、参加者同士の親睦を深めたり、楽しみながら実施しています。

■サポーター活動を公募イベントとして開催し、参加者を広く集めて実施しているケースもあり、河川環境保全の啓発にもつながっています。

■また、年1回、参加団体が集まり情報交換を行う連絡会議を開催しています。



ゴミ拾い



草抜き・草刈り



生物調査



環境学習

荒川水辺サポーターに関するQ&A

Q どんな団体が活動しているの？

A 市民団体、地元小中学校や企業などで、年間10数団体が活動しています。参加団体リストや活動成果は、ホームページ（裏面URL）で公開していますので、ご参照ください。

Q 活動の頻度や期間はどのくらい？

A 活動頻度は年3回以上であればOKです。活動期間は1年間（4月から翌年3月）で、何期でも継続できます。

Q アダプトサインってなに？

A サポーター活動にあたって、さまざまな支援（裏面参照）が受けられます。そのひとつ「アダプトサイン」は、活動団体名を記した現地サインで、サポーターの皆さんが自然地を守っていることを、訪れる人に知ってもらうことができます。

アダプトサインとのぼり旗（活動支援の例）



活動を実施されたサポーターさんの声です



里小松川自然地協議会事務局 藤森さん

私たちはゴミ拾いや外来種除草を地域の団体や学校、都内の企業などと一緒に、年に10回以上行っています。子どもたちにとっても自然豊かで楽しい場所になってきていると実感しています。

荒川水辺サポーターの皆さんには、小松川自然地内に担当区画を設定し（A～D区の1区画以上）、区画内の維持・

保全活動を実施していただいています。現地には、区画ごとに活動団体名を記したアダプトサインが設置されています。

